

日本語を生かした将来のキャリアの希望:いい本を作りたい

名前:ナイラ ジャンナティシャバニヤープラティウィ

学生番号:2503881

大学名:インドネシア教育大学

小さいときから、色々な物語を書くことが好きでした。読むことも好きでした。私が読んだ物語の中には、それぞれ異なる言語で書かれたものもありました。大変でしたが、楽しかったです。今でも、色々な言語で書かれた物語を読むことが好きです。新しい言葉を学ぶことができます。たぶん、これは言語を素早く習得する方法の一つです。物語を理解するために、辞書を開いて新しい言葉を調べることで、やがてその言葉が分かるようになると思います。世界には色々な学習方法がありますが、これは楽しい学習方法の一つだと思います。学習者に一度に多くの単語を覚えるよう強いることなく、無理なく学べる方法です。もちろん、正規の外国語教育も依然として必要とされています。

「勉強のために物語を使う」というのは、楽しく勉強できるようにするという意味です。

だから、私の日本語を生かした将来のキャリアの希望は……日本語の本を書くことです。この本には、文法や読解、単語などを盛り込みたいです。子ども向けの本も書きたいです。素朴な物語を書くことは簡単で楽しいです。そうすることで、学習者は興味深く楽しいコンセプトで学ぶことができます。特に、読書が好きな子どもにとっては、楽しく学べる方法だと思います。たぶん、語学講座の講師になれば、それが可能になると思います。

それは「しろくまカフェ」みたいな物語かもしれません。でも、このコンセプトでは漫画を使います。私は絵を描くこともできます。子どものときから、面白い本を作ったり読んだりすることが大好きです。母は、私には物語を書く才能があると言っています。日本語と私の才能……組み合わせると

楽しそうです。まあ、今はしっかり勉強しなければなりません。いい日本語の本を書きたいので、私の日本語はもっと上手になるはずです。

私は漫画と小説も訳したいです。それも楽しそうです。フィクションがとにかく好きです。たくさんの世界を作ったり、色々な物語を書いたりできます。15 歳のときから、昔の言葉で書かれた物語も好きです。古典の物語は面白いと思います。日本語が上手になれば、昔の文学作品をたくさん訳したいです。とても楽しそうだからです。いつか、日本語で物語を書けるようになりたいです。私は、インドネシア語と英語では、すでに物語や詩などを書けます。

だから、今……私の目標は、日本語で面白い本を書くことと、昔の文学作品をインドネシア語に訳すことです。もっと勉強しなければなりません。